

第14回

国立大学一般職員会議

実施報告書

2023年9月17日(日)・18日(月・祝)



Reboot コクダイパン!

熱き想いたちの大噴火



コクダイパン会議 14th

2023 9 / 17 SUN · 18 MON
鹿児島大学郡元キャンパス学習交流プラザ



目次

1-1	コクダイパン会議の歴史と概要	2
1-2	第 14 回コクダイパン会議の概要	4
コラム 1	テーマパンの紹介	5
2-1	全体会(オープニング)	6
2-2	分科会 I	7
2-3	分科会 II	8
2-4	全体会②	9
コラム 2	懇親会	9
2-5	分科会 III	11
2-6	分科会 IV	12
2-7	全体会(クロージング)	13
コラム 3	コクダイパングッズ紹介	13
3	アンケート結果	14
4	おわりに ~謝辞~	20
5	資料	21

1-1. コクダイパン会議の歴史と概要

国立大学の法人化後の平成 19 年 7 月 15 日、国立大学の将来に危機感を抱いた全国の一般職員有志により、国立大学の将来像や国立大学が直面する課題を議論し、具体的方策を見出していく自発的な活動が行われました。これが「国立大学一般職員会議(通称:コクダイパン会議)」の基礎となっており、毎年開催場所やテーマを変えながら現在まで続いています。

本会議では、国立大学法人等の今後を担う私たち一般職員(通称:パン)が、全国各地より自発的に集まり、職歴や担当業務が異なる全国のパン仲間との議論や交流を通じて、様々な視点から課題解決に向けたアプローチや具体的な解決方法等を模索することで、明日からの自分自身が大学職員として少しでも成長することができる“きっかけ”を得ること、また、参加者相互の協力や意見・情報交換のための人的ネットワークの構築・拡大を目的としています。

第 14 回コクダイパン会議も、全国の一般職員の皆さんの応援と、多くの方々のご理解、ご支援のおかげで、無事実施することができました。この場を借りて、御礼申し上げます。

【コクダイパン会議の基本ルール】

1. 相手の意見を尊重する。
2. すべての参加者が議論に参加できるように気を配る。
3. 愚痴だけで終わらない。問題の解決策や将来像の実現方法を考える。

【各回コクダイパン会議概要】

開催回	開催日	会場校	参加者数	テーマ
				キーワード
第 1 回	H19.7.15	京都大学	25 機関 72 名	未来へ繋がる扉を拓こう
				コミュニケーション、他者との関係性
第 2 回	H20.8.2 ~8.3	東京大学	41 機関 123 名	踏み出した一歩その先の未来へ
				大学の使命(教育、研究、社会貢献)との関係で私たちが果たすべき役割
第 3 回	H21.8.1 ~8.2	神戸大学	53 機関 175 名	未来を語ろう、探そう、ともに見つけよう
				国立大学・国立大学職員の将来像

第4回	H22.7.17 ~7.18	金沢大学	47 機関 172 名	ともに、今を見つめ、明日を語り、未来を 目指そう
				社会や地域とともに発展するために国立 大学や私たちにできること
第5回	H23.9.24 ~9.25	名古屋大学	53 機関 279 名	未来のために、ともに今を考え、私たちの明日をつくりだそう
				大学職員の 10 年後のキーパーソン像
第6回	H24.9.16 ~9.17	宮城教育大学	50 機関 153 名	ともに見いだす潜在性、自ら拡げる可能性
				国立大学職員のセールスポイント
第7回	H25.9.22 ~9.23	横浜国立大学	51 機関 125 名	Action!~「気づき」から「動きへ」~
				課題解決に向けて行動するために
第8回	H26.10.12 ~10.13	東北大学	46 機関 158 名	描こう!未来見つけよう!自分軸
				理想とする国立大学職員像と行動指針(クレド)作成
第9回	H27.10.10 ~10.11	一橋大学	54 機関 122 名	Pan can do it !!~自分の仕事が未来を変える~
				国立大学職員としての可能性の認識、明日からの行動目標作成
第10回	H28.10.9 ~10.10	大阪大学	44 機関 100 名	前向き思考のススメ~つながるグッドサイクル~
				課題解決のための前向きな具体策と周囲への好循環
第11回	H29.10.8 ~10.9	筑波大学	44 機関 108 名	pan by one ~創ろう!理想の働き方 PLAN~
				大学職員としての QWL
第12回	H30.10.7 ~10.8	山口大学	38 機関 76 名	Design Our Work~あなたのパンはどんな味?~
				新しい解決策を提案できる人材になるために
第13回	R1.9.15 ~9.16	奈良先端科学 技術大学院大 学	36 機関 72 名	Find Your Strong Point!~キラリと光る「一般職員」になるために~
				自分の強みや弱みを仕事へつなげる
新型コロナウイルス感染症の影響により中断				
第14回	R5.9.17 ~9.18	鹿児島大学	36 機関 56 名	「Reboot コクダイパン!」~熱き想いたちの大噴火~
				アフターコロナの業務の進め方、一般職員同士のつながり

1-2. 第14回コクダイパン会議の概要

○開催校について

第14回コクダイパン会議の開催校、鹿児島大学についてご紹介します!

鹿児島大学は昭和24年(1949年)に発足し、現在は9つの学部と9つの大学院研究科において、1万人を超える学部学生と大学院生が在籍しています。

鹿児島県鹿児島市に3つのキャンパスがあり、海と火山と島々からなる豊かな自然に恵まれた環境で国の近代化を支えた伝統と歴史を踏まえ、自主自律と進取の精神を備えた人材育成を教育の基本理念とし、実践し、そして日々改革に取り組んでいます。



○第14回テーマについて

第14回コクダイパンのテーマは

「Reboot コクダイパン!」～熱き想いたちの大噴火～

国立大学が法人化してから間もなく20年が経とうとしている中、私たちは新型コロナウイルス感染症のパンデミックという未曾有の危機を経験しました。それに伴い、テレワークやハイフレックス型会議など、働き方に大きな変化が生じたり、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進やAIの活用など、これまで以上に業務の効率化を求められたりするようにもなりました。加えて、コロナ禍で研修などもオンラインで実施されることが多くなり、職員同士で情報交換や相談をするといったつながりを直接持つ機会も激減しました。

今回のコクダイパン会議では、一度途絶えてしまったコクダイパン会議の歴史を再起動

(Reboot) し、アフターコロナの業務の進め方についての漠然とした不安や悩み、危機感を共有しながら課題を解決することで、コロナ禍で希薄になった一般職員同士のつながりを再構築することを目指しました。

コラム1. テーマパンの紹介

このコラムでは、コクダイパンの顔となるテーマパンについてご紹介します。

第14回コクダイパン会議のテーマパンは「ベーグル」でした！

かためでもちもちの食感で、ジャムやクリームを挟んでスイーツで楽しんだり、惣菜と一緒に楽しんだり色んな味を楽しめるパンです。名だたる美味しいパンたちを抑えて、選ばれたのがベーグルです！

「ベーグル」の起源は古く、はっきりとしていませんが、東ヨーロッパ系のユダヤ人が話していたイディッシュ語から来ているという説があります。原材料にバター・牛乳・卵を使用しておらず、ヘルシーでかたい食感から咀嚼数が増え満腹感が得られやすいパンです。

今回のコクダイパンのテーマは「Reboot コクダイパン！～熱き想いたちの大噴火～」です。シンプルな味付けでいろんな味が楽しめ、噛み応えのある「ベーグル」ように、今回のコクダイパン会議で、全国から集まった「コクダイパンたち」が多種多様な具材との融和、また本来の味の良さを発揮できるように、さらにはベーグルの輪の形のように、同士のつながりが一つの輪となりますようにという願いを込めてベーグルをテーマパンといたしました。



2-1. 全体会（オープニング）

暦の上では秋とはいえ、いまだ暑さが残る日であった令和5年9月17日（日曜日）は、コクダイパン会議開催を待ちわびたかのようなさわやかな秋晴れの日でした。

やや緊張の面持ちのように見える初参加の方や、会議を楽しみにやってきた複数回参加者の方なども、日本全国各地から、会場である鹿児島大学に集まりました。

「みなさん、こんにちは！」

「ただいまより、第14回国立大学一般職員会議、略して、第14回コクダイパン会議を開催いたします。」

会場に響く司会の元気な挨拶と共に第14回コクダイパン会議のオープニング全体会がスタートしました。

冒頭、会場校である鹿児島大学の田頭理事・事務局長からの激励の言葉を受け、参加者はしっかりとその言葉を胸に刻み、自然とコクダイパン会議への期待とやる気が高まりました。

その後、コクダイパン会議の経緯や第1回より貫かれている「コクダイパン会議は参加者一人ひとりが創り上げてゆくものである」という基本方針、会議参加のための3つの基本ルールを確認し、2日間にわたる会議全体の流れと今回のテーマである「Reboot コクダイパン！～熱き想いたちの大噴火～」について説明がありました。

最後に会議の成功を願って全員で「Reboot！」と声を合わせて発声し、盛大な掛け声と拍手の中、全国のコクダイパンの全員と作り上げる、2日間にわたる第14回コクダイパン会議は幕を開けました。



（参加者全員で Reboot !）

2-2. 分科会 I

分科会 I では、少人数のグループに分かれ、国立大学等においてアフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいものを視覚化し、客観的に現状を把握しました。また、その精査を通して、自分自身の課題や悩みを見つけて、グループ内でシェアすることで、今回のコクダイパンの目的意識を明確にしました。

(1) 概要説明、アイスブレイク

はじめに、実行委員から、本分科会の目標・進行・ルール等について説明しました。続いて、1人1分を目安にグループ内で自己紹介を行いました。

(2) 個人ワーク

グループワーク①において、アフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいもの、自分自身の課題や悩みについて、各自3分程度で発表してもらうため、個人ワークでは、そのための準備を各自で行っていただきました。

(3) グループワーク①

アフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいもの、自分自身の課題や悩みとそれにまつわるエピソードについて、グループ内で発表と意見交換を行いました。

発表では、個人ワークで記入した付箋を模造紙に貼り、エピソード等を添えながら発表しました。全員発表後は、より認識を深めるとともに、新たな発見することを目指して活発に情報交換が行われました。

(4) 他グループの見学

他グループの見学では、他のグループの模造紙等を見て回り、情報収集を行いました。見学しながら、グループに関わらず活発な意見交換が行われ、会場全体に和やかな雰囲気がありました。

(5) グループワーク②

グループワーク②では、他グループの見学で発見した他グループのよいところや印象に残った点を付箋に記入して、模造紙に貼り付け、その模造紙等を見ながら、グループ毎に気づきをシェアしました。

2-3. 分科会 II

自分自身もしくは同僚が行った業務改善について事例紹介をしていただき、その後は事例紹介者をホストにしたワールドカフェを行いました。事例紹介ごとに設けられた発表者と聴講者との質疑応答や、ワールドカフェを通じた活発な意見交換を通して、分科会 I で視覚化されたアフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいものに対して多くの人の意見を聞き、2日目に話し合う自分自身の悩みを解決するためのヒントを得る機会としました。

ワールドカフェで出された意見やアイデアをいくつか紹介いたします。

- ◆コロナ禍で仕事のシステム化やオンライン化が一気に進んだ。一方で、職場のコミュニケーションが少なくなり、メンタルを壊してしまう人も出てきている。課や係に関係なく、オープンにコミュニケーションができる勉強会やラウンジを企画している職場もある。
- ◆テレワーク等の活用によって働き方改革が進んだ大学もあれば、コロナ禍が明けてテレワークが原則禁止になった大学もある。テレワークの進んでいる大学では、フリーアドレスで仕事ができるように、電話回線に縛られない Teams 電話を導入した大学もある。
- ◆DX の推進はどの大学でも取り組み始めているが、できる人に任せっきりになっている傾向にある。今の時代は、システムに関わらない部署はほとんど無いため、システムの管理を一つの部署に統合して、IT に関する相談事ができるようになれば、より効率的に仕事ができるのではないか。

2-4. 全体会②

分科会 I と同じグループに戻り、1 日目の振り返りを行い、国立大学においてアフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいものを改めて精査しました。また、その中で発見した課題や悩みを共有しあいます。それを踏まえて、どんな人と繋がりたいか、何を知りたいか、逆にどんな情報を自ら提供できるかを付箋に書き出し、全員に見える形で貼り付ける「アナログ SNS」を作成し、アナログなコミュニケーションを通じて「全員が課題を解決させる」というゴールを目指しました。

(1) 自分自身の悩みや課題を共有し、相互にアドバイスしあう、アフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいものの精査

最初の分科会 I と同じグループに戻り、1 日目の振り返りを行い、国立大学においてアフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいものを改めて精査しました。また、その中で発見した課題や悩みを共有しあいました。それを踏まえて、どんな人と繋がりたいか、何を知りたいか、逆にどんな情報を自ら提供できるかを付箋に書き出し、全員に見える形で貼り付ける「アナログ SNS」を作成し、アナログなコミュニケーションを通じて「全員が課題を解決させる」というゴールを目指しました。

(2) 1 日目の学びをシェア

数人の方に 1 日目の学びをシェアしていただきました。

(3) 1 日目の総括、2 日目に向けて

第 14 回コクダイパン会議実行委員から、懇親会と 2 日目に向けての連絡事項をお知らせしました。

コラム 2. 懇親会

初日のプログラムが全て終了し、おまちなかの懇親会の時間となりました。鹿児島大学稲盛記念館 2 階レストラン「ヴェジマルシェ'19」の一角には、素敵な食事や鹿児島特産の焼酎が並び、華やかな会場となっていました。焼酎コーナーでは、鹿児島大学田頭理事からご提供いただいた「佐藤 黒」、鹿屋体育大学の平川理事からご提供いただいた鹿屋市の酒造の「美し里」、「茶房大海庵」、「海王」、そして鹿児島大学農学部焼酎・発酵教育センタ

ーで開発されたオリジナル酵母を使用した焼酎が3種類の計7種類の芋焼酎が並び、圧巻の焼酎バーとなっていました。

待望の懇親会ということで、司会の二人は元気よく登場し、鹿児島大学の平野人事課長による乾杯のご発声で懇親会がスタートしました。あらかじめ懇親会のグループは決めていましたが、立食のビュッフェスタイルなのも手伝って、参加者は食べる物を選びながら自由に動き回って、ほかの参加者と交流を楽しんでいる様子でした。

さて、今回も前回と同様、毎年恒例の企画である各機関のグッズ紹介と、グッズを景品として、それぞれの機関にちなんだクイズを披露するグッズ争奪クイズ大会を実施しました。グッズ紹介用のグッズやクイズは事前に募集をし、グッズ紹介が6機関、クイズが4機関と盛りだくさんな内容となりました。グッズの内訳は、大学で作られているお酒や大学のロゴを使用したグッズ、お菓子、ぬいぐるみや文具等、それぞれ魅力に富んだものばかりでした。

グッズ紹介では、実行委員で設けた「大学グッズ展示コーナー」に各機関自慢のグッズが並びました。展示コーナー内では参加者が集まってグッズの展示鑑賞や配布グッズの受け取り、酒を試飲したり、お菓子を試食したり、賑わいを見せていました。

そして、クイズ大会は、初めにクイズを出題する各機関より景品グッズの紹介があり、それぞれ熱の入った、愛溢れる紹介となっていました。グッズ紹介終了後、いよいよグッズ争奪クイズ大会が始まりました。クイズはヒントをいくつも出さないと当たらない問題から、クイズを出した途端、参加者がするっと当ててしまう問題まで多岐にわたりました。例えば、大学出身のノーベル賞受賞者の学生時代の所属課外活動団体や、珍しい大学施設の筋トレ器具の重量、大学マスコットキャラクター誕生に纏わる逸話からの出題など…。個性豊かなクイズがそろい、参加者が皆一様に楽しみ最後まで白熱した様子で、クイズ大会は大盛況に終わりました。

その後、しばしの歓談の時間を挟んだ後、鹿児島大学の原田情報企画課長による締めのご挨拶で、明日の2日目に向けて懇親会は幕を閉じました。

また、会が終わった後も、その場に残ってそれぞれに話に花を咲かせる参加者も多く、この懇親会が参加者にとって、良い交流の場になっていることに大変うれしさを感じました。



2-5. 分科会Ⅲ

自分自身もしくは同僚が行った業務改善について事例紹介をしていただき、その後は事例紹介者をホストにしたワールドカフェを行いました。基本的には、分科会Ⅱと同じ流れになりますが、分科会Ⅲでは「アフターコロナ」に限らず、「業務に関する悩みを解決するためのヒント」や「今後の大学職員に必要なこと」等、テーマを広げて意見交換を行いました。

ワールドカフェで出された意見やアイデアをいくつか紹介いたします。

- ◆新人や非常勤職員の方に業務を教えるのに時間を取られてしまっている。また、上司の中にはシステムを使うことができず、雑用のような仕事しかできなくなってしまう人もいる。ローコードやノーコードを用いる等、IT知識に詳しくない人でも体感的に業務を効率的に行っていくことのできる仕組み作りが大事だと感じる。
- ◆RPA や VBA を活用して業務効率化を進めたいと考えているが、専門的な知識をどう勉強していけば良いかが分からない。大学によっては、研修を実施しているところや、オンライン学習サービスの Udemy (ユーデミー) を大学で契約していつでも勉強できる環境を整えているところもある。
- ◆どの大学も同じような悩みを持っている。また、DX (デジタルトランスフォーメーション) が必要なことは分かっているが、自分一人の力ではなかなか進まない。それであれば、Discord のようなコミュニケーションツールや Gather.Town のようなバーチャルオフィス空間を活用して、大学の垣根を超えた勉強会を開いてはどうか。

2-6. 分科会Ⅳ

1日目とは別のグループに分かれ、2日間で得た情報をもとに、参加者が今業務で直面している課題について再考しました。2日間で知り得た情報やグループでの話し合いをもとに、各々が個人ワークにより自分自身で解決策を考えた後、グループ内で全員が発表し、それらを共有しました。解決策が今までにない「新しい」ものになっているか、なっていないか、どんな所に新しい視点を入れられるか、グループ内で話し合い、新しい解決策を提案できる人材を目指しました。

(1) 個人ワーク（自分自身の課題とその解決策を洗い出し）

各グループ内で自己紹介と名刺交換を行った後、用意されたワークシートに自分自身の課題とその解決策を書き込みました。

(2) グループワーク（それぞれの課題をシェアし、解決策を提案しあう）

各グループ内で一人ずつ、自分自身の課題とその解決策について発表し、グループ内で共有しました。グループ内で積極的に質問やコメントをし、解決策が今までにない「新しい」ものになっているか、なっていないか、どんなところに新しい視点を入れられるかのアイデアを提供しあいました。

2-7. 全体会（クロージング）

分科会Ⅳを終え、テーマパンを含めたパンでランチを楽しんだ後、2日間にわたる第14回コクダイパン会議を締めくくる、最後の全体会(クロージング)を迎えました。

初日に集まった際の緊張した表情と違い、参加者のみなさんの表情は、2日間のワールドカフェやグループワークを通して様々な学びや新たな気づきから、自らの課題や悩みに対する共通項や解決策を見つけ出すことができたという充実感に満ちていました。

クロージング全体会では、まず、2日間にわたる会議での総まとめとして今回の会議での収穫を数名に発表していただきました。

会議に参加してみてもの気づきや共感、自らの悩みや課題を解決するために今回得られた情報等を今後に活かしていくという所信表明もあり、参加者のみなさんがたくさんの収穫を得られた様子を感じ取ることができました。

続いて、実行委員長の前田新之介（鹿児島大学）より総括として実行委員の言葉とし、2日間を振り返りました。

その後、参加者一人ひとりが創り上げてきたこの2日間のお互いへの感謝、今後の健闘を祈り、参加者全員による参加者全員のための拍手をもって、第14回国立大学一般職員会議は閉会しました。

コラム3. コクダイパングッズ紹介

第14回コクダイパングッズは“クリアファイル”&“ネクストラップ”の2点！

クリアファイルはテーマパンのベーグルと、第14回コクダイパン会議のテーマである「Reboot コクダイパン！～熱き想いたちの大噴火～」の大噴火にピッタリの鹿児島のシンボルである桜島が噴火している様子を合わせた躍動感のあるデザインになっています！

ネクストラップは鹿児島をイメージした緑色をベースに、職場でも使用できるようなシンプルなデザインとしました！

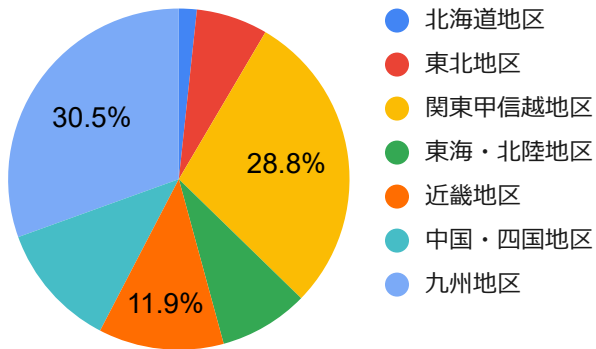
ぜひ、職場などさまざまなシーンでお使いいただき、今回の会議での熱い議論や交流を思い出していただくグッズとなれば幸いです☆



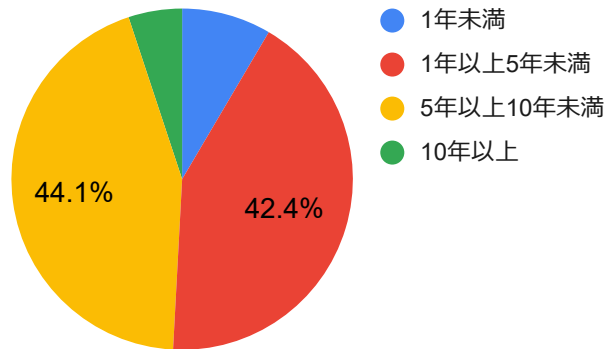
3. アンケート結果

1. 参加者について

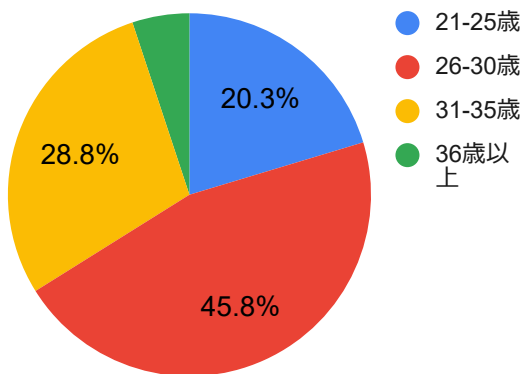
1-1所属機関のある地域



1-2所属機関における、勤続年数

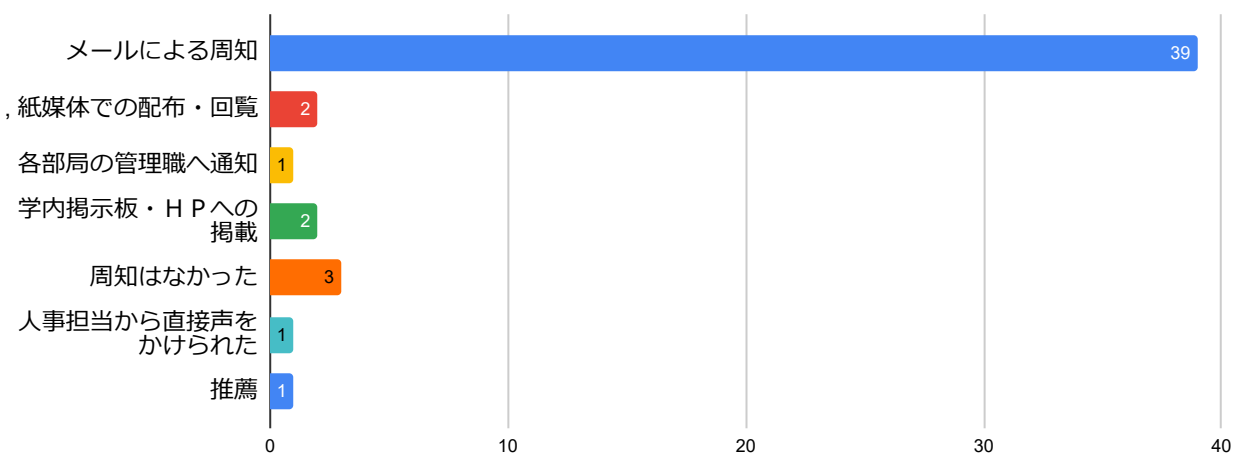


1-3年齢

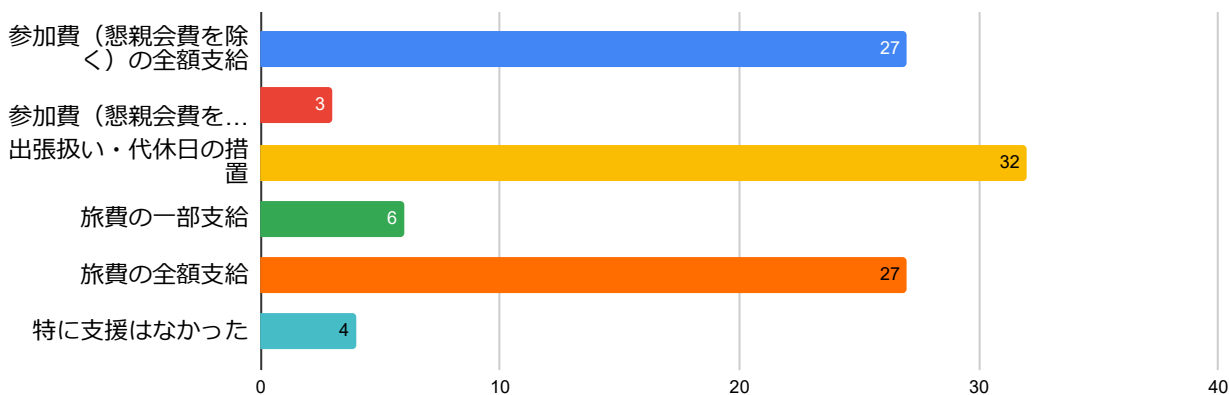


2. 参加するにあたって

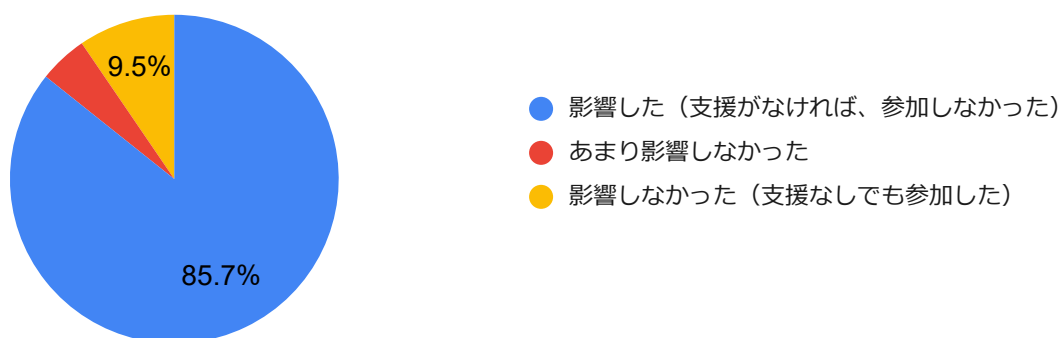
2-1.所属機関における、コクダイパン会議開催の周知状況（複数回答可）



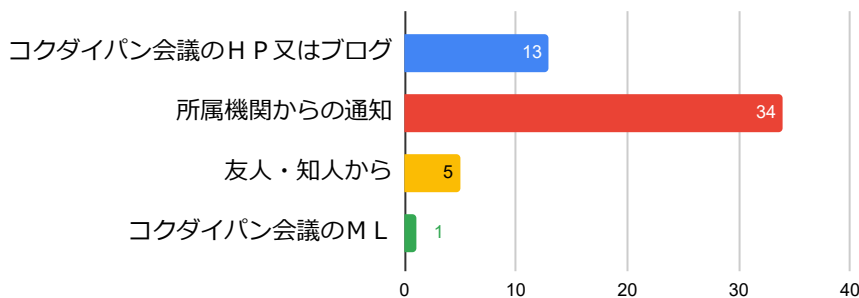
2-2. 所属機関における、コクダイパン会議参加に対する支援（複数回答可）



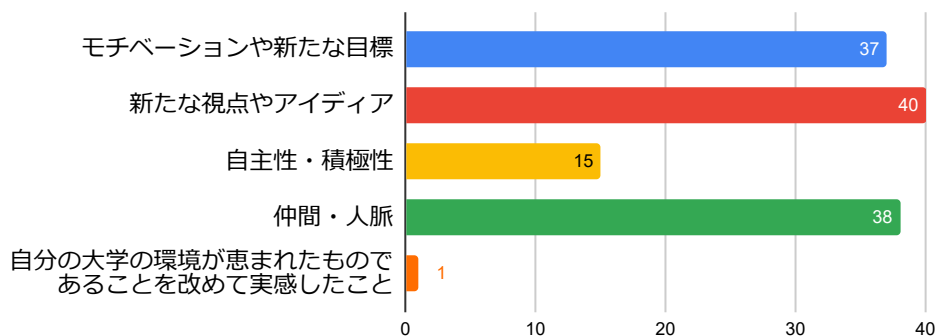
2-3. 所属機関における支援がどの程度参加以降に影響したか



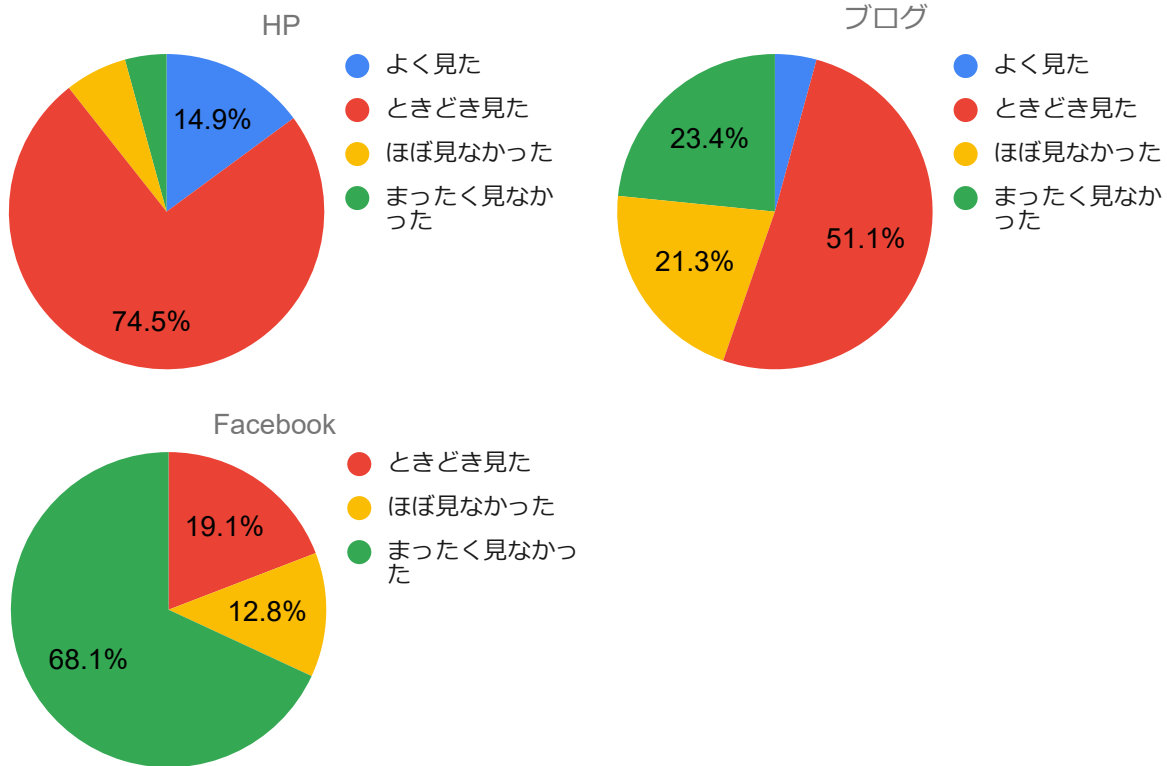
2-4. 第14回コクダイパン会議のことは何を通じて知ったか（複数回答可）



2-5. コクダイパン会議に出席することによって、あなたが「得たい・身につけたい」と考えたもの（複数回答可）



2-6-1.事前に、コクダイパン会議のHP、ブログ、Facebookはご覧になっていましたか？

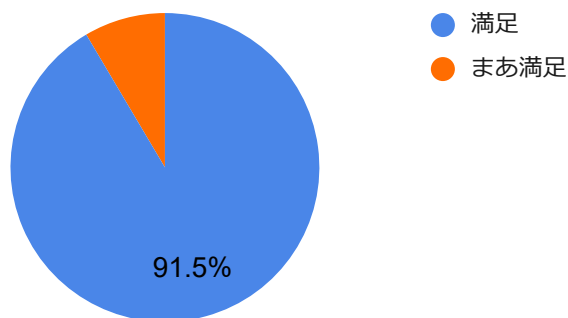


2-6-2. 上記で「ほぼ見なかった」「まったく見なかった」理由（抜粋）

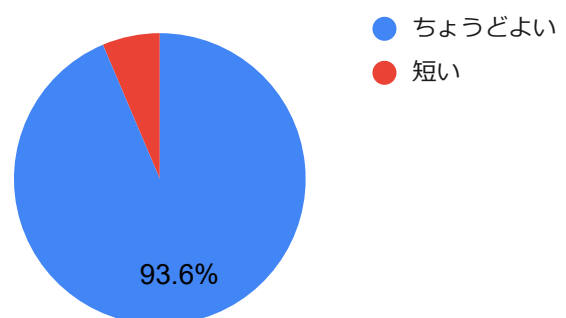
- facebookがあることを知らなかった、使っていないため
- HPとブログで情報が収集できたため。
- メール連絡で十分と思ったから。
- 会議前に見る余裕があまりなかったため
- 知らなかった

3. 会議全体について

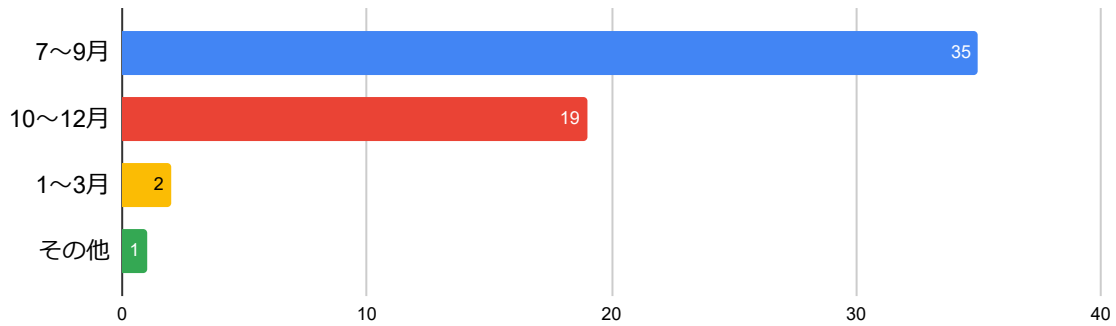
3-1-1. 会議全体を通した満足度を教えてください。



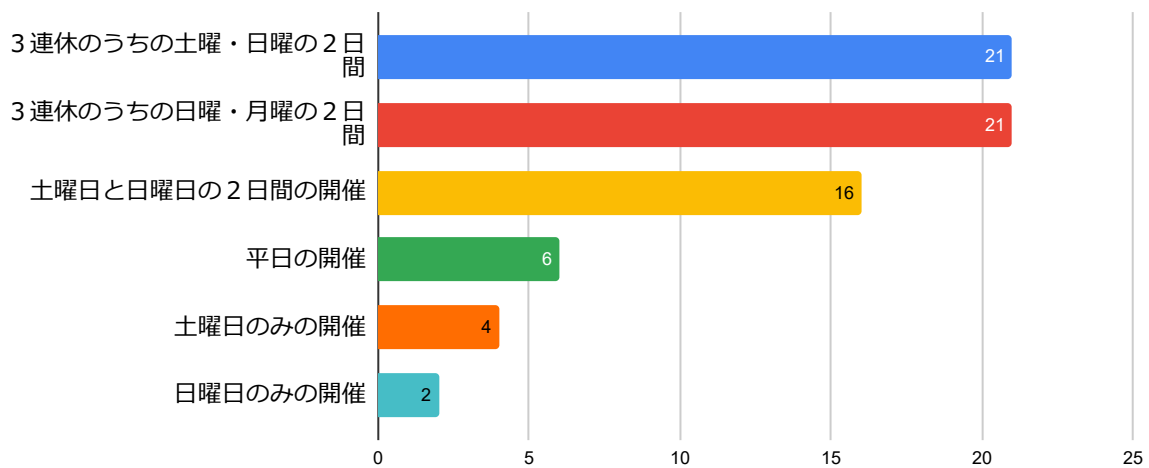
3-2-1. 今回の日程(スケジュール)について



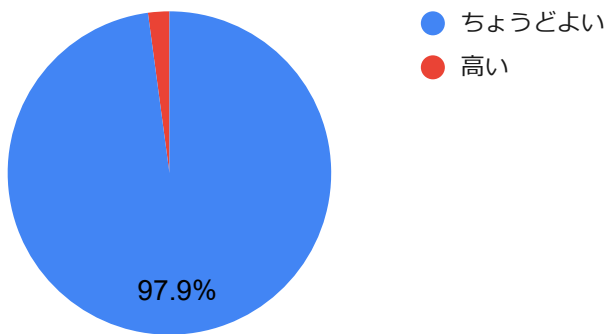
3-2-2.今後の開催時期について（複数回答可）



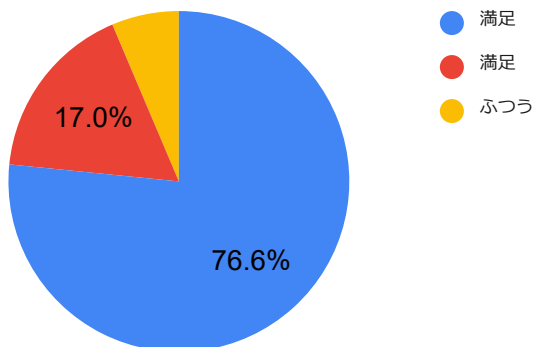
3-2-3.今後の日程について（複数回答可）



3-3.参加費について



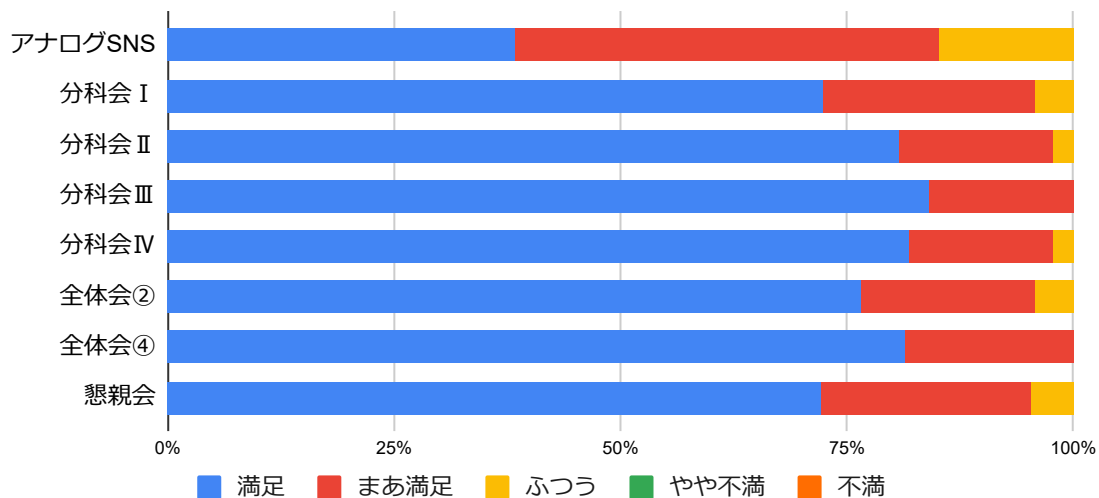
3-4-1.グッズの感想



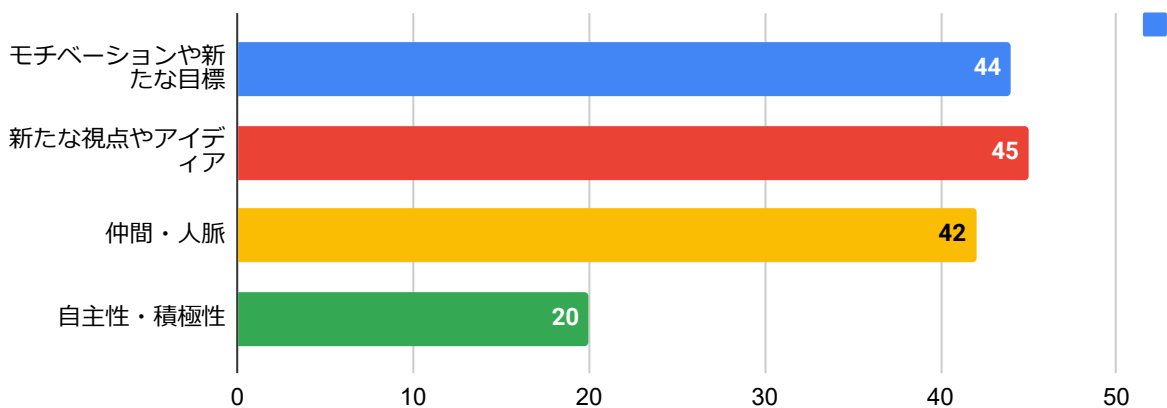
3-4-2.どんなグッズなら嬉しいですか？

- ・文房具
- ・実用的なもの
- ・机に置けそうな雑貨
- ・食べ物

各企画の満足度(3-5～3-12)

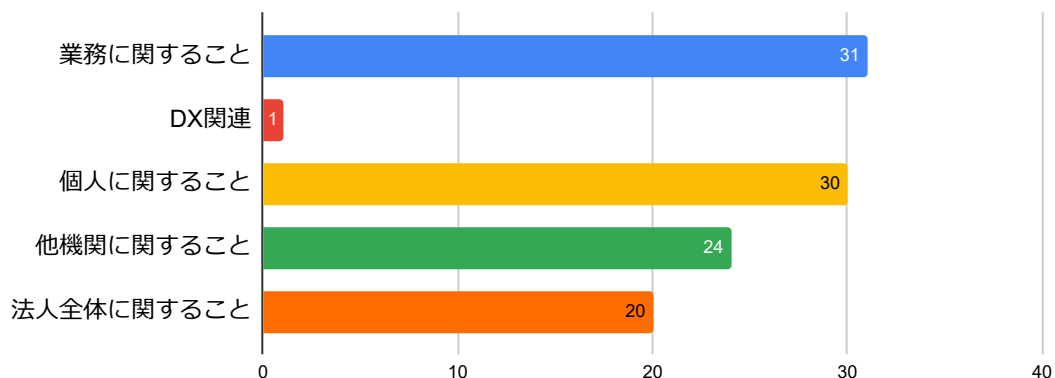


3-13.会議に参加することによって、あなたが「得られた、身に付けることができた」と考えるものの中で、当てはまるものを選んでください。(複数回答可)



4. 今後について

4-1.今後のコクダイパン会議で実施してほしい企画や取り上げてほしいテーマ(複数回答可)



5-1.その他、感想やご意見など

- ・鹿児島とても楽しかったです！温泉、食べ物(とくに鳥刺し)が美味しかったです！！
- ・色々な立場の方と交流でき、いい刺激になりました。このつながりを今後も大事にできたらと思います。ありがとうございました。
- ・すべての会議において、職員同士のコミュニケーションをする機会があり、自分自身の課題や悩みを共有できたり、アドバイスいただいたりすることで新たな発見もあった。だからこそ、ここで終わりにするのではなく、振り返って整理して明日から業務に活かしていければと思う。最後にこのような研修の機会を作ってくださった実行委員会の皆様、参加者の皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。
- ・鹿児島最高でした。。次は旅行しに来ます！！
- ・みなさんととても楽しく、有意義な2日間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました！
- ・思っていた以上に楽しく参加させていただきました。人のつながりの大切さを改めて実感しました。ありがとうございました。
- ・とても楽しかったです。今回、1人だけだったので、今度は同じ大学の人を誘いたいです。
- ・本当にありがとうございました。職場では話せないことも話せて、大変助かりました。
- ・ワークを通して業務改善方法を考えることができました。雑談の中でも、いろいろな大学の情報を得たり、話し合いの仕方も勉強になりました。鹿児島の魅力も発見できました。食べ物美味しいし、景色もいいし最高です。
- ・2日間、そして事前準備や連絡など、ほんとうにありがとうございました！！
自分はコロナ禍に入ってから就職した者で、「ビフォーコロナ」をよく知らないため「アフターコロナ」のイメージもよくわからないところもありましたが、みなさんの話をきいてイメージがふくらんだり、これから出来る可能性のあることについて考えることができ、このタイミングで参加できてよかったです！

4. 終わりに～謝辞～

この報告書を皆様にお届けする頃には日増しに寒さが厳しくなっていることと思いますが、南国・鹿児島で経験した熱い（暑い）2日間を今一度思い出しながらご覧いただけましたでしょうか。

遡ること2020年2月、第14回コクダイパン会議の会場校が鹿児島大学に決定し、さあこれから実行委員を集めて準備するぞ・・・と意気込んだ矢先に、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始め、1年、また1年と延期を繰り返し、ようやく開催まで辿り着くことができました。これもひとえに会場校である鹿児島大学関係者の皆様や周知等にご尽力くださった各機関担当者の皆様、そして何よりコロナ禍明け早々にもかかわらず参加を決定された一般職員（パン）仲間のおかげと、深く感謝しております。

さて、今回のコクダイパン会議は「Reboot コクダイパン！」をテーマに、一度途絶えてしまったコクダイパン会議の歴史を再起動（Reboot）し、各々が抱える不安や悩み、危機感を共有しながら課題を解決することで、コロナ禍で希薄になった一般職員同士のつながりを再構築することを目的としていましたが、色々な意見を交わす中で新たな気付きや自分と違った視点・捉え方など、得たものが様々あったのではないのでしょうか。

その中でも特に、世代の近いパン同士のつながりはとても大きいものだと思っています。他機関の職員とのつながりというものは、普段所属機関で業務を行う中ではなかなか得ることができないものですので、このつながりのうち1つでも今後の職員としてのキャリアで生きてくるものがあれば、実行委員としても大変嬉しい限りです。

今後は、ご協力いただいたアンケートやご意見等を参考にしながら、コクダイパン会議のより一層の充実を図るとともに、コクダイパン会議の裾野が広がり、より身近で参加しやすい会議となるよう検討を重ねることで、Rebootしたコクダイパン会議の歴史が未永く引き継がれることを心より願っております。

末筆ではありますが、第14回コクダイパン会議に参加されたパン仲間のますますのご活躍を祈念し、謝辞とさせていただきます。本当にありがとうございました。

第14回国立大学一般職員会議実行委員一同

以降、關係資料

第14回国立大学一般職員会議 実施要項

” Reboot コクダイパン！”

1. 目的・概要

法人化後の平成19年7月15日、国立大学の将来に危機感を抱いた全国の一般職員有志により、国立大学の将来像や国立大学が直面する課題を議論し、具体的方策を見出していく自発的な活動が行われました。これが現在まで続いている「国立大学一般職員会議（通称：コクダイパン会議）」の基礎となっています。

国立大学一般職員会議では、国立大学法人等の今後を担う私たち一般職員（通称：パン）が、全国各地より自発的に集まり、現在直面している様々な課題や、これから求められる国立大学職員像などについて全国の仲間とともに考えていきます。

職歴や担当業務が異なる全国のパン仲間との議論や交流を通じて、様々な視点から課題解決に向けたアプローチや具体的な解決方法等を模索することで、明日からの自分自身が大学職員として少しでも成長することができる“きっかけ”を得ることができればと思います。

本会議は、参加者一人ひとりが今後の国立大学で活躍できるよう、自分自身に必要な資質を考え、培い、行動していくための一助となるような自己研鑽の機会となること、また、参加者相互の協力や意見・情報交換のための人的ネットワークの構築・拡大を目的としています。

2. 主催

国立大学一般職員会議実行委員会（以下「実行委員会」という。）〔実行委員：9名〕

今里 遥菜（鹿児島大学）、小屋 帆乃夏（鹿児島大学）、下石 和樹（鹿屋体育大学）、高山 慎太郎（小樽商科大学）、立山 直哉（鹿屋体育大学）、俵積田 真央（鹿屋体育大学）、内藤 輝章（北海道大学）、前田 新之介（鹿児島大学）、山野 友樹（鹿児島大学）

※実行委員会は、以上の国立大学法人等一般職員有志による自発的な組織です。

3. 日時・会場

【日時】 1日目：令和5年9月17日（日） 13:30～18:00（予定） ※13:00 受付開始

2日目：令和5年9月18日（月・祝） 9:20～13:30（予定）

※1日目の会議終了後に懇親会を行います。

※2日目の昼食は実行委員会で準備します。（パンと飲み物を予定しています。）

【会場】 鹿児島大学（郡元キャンパス） 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21-24

※受付場所：学習交流プラザ

○会場配置図：<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/campusmap.html>

○交通案内：<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/access.html>

=アクセスについて=

【飛行機でお越しの方】

鹿児島空港からリムジンバスで「鹿児島中央駅」下車（約40分）

【JR鹿児島中央駅から会場まで】

徒歩（約25分）／タクシー（約7分）／

市電2系統・郡元行（約8分）で最寄り電停「唐湊（とそ）」から徒歩約7分／

市営バス11番線・鴨池港行（約10分）で最寄りバス停「法文学部前」から徒歩約2分

【お車でお越しの方】

会場には来場者用の駐車場はありませんので、近隣のコインパーキングをご利用ください。

=宿泊施設の予約について=

会議当日は3連休であり、宿泊施設が大変混雑することが予想されますので、可能な限りお早めにご予約ください。また、会場周辺の宿泊施設は数軒しかありませんので、鹿児島中央駅周辺の宿泊施設をお勧めいたします。

4. 参加対象者

国立大学法人等に所属する一般職員

※本会議において、一般職員とは、係員・主任級の職員を意味し、係長級以上は除きます。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響等により数年間本会議を開催できなかった事情を鑑み、参加機会の公平性確保の観点から、第14回コクダイパン会議に限り、令和2年7月～令和5年6月の間に昇任等で一般職員ではなくなった方も参加対象とします。

※大学共同利用機関法人や放送大学に所属する方、文部科学省や日本学術振興会などの関係団体へ研修・出向中の方も含みます。

5. 主な内容

国立大学が法人化してから間もなく20年経とうとしている中、私たちは新型コロナウイルス感染症のパンデミックという未曾有の危機を経験しました。それに伴い、テレワークやハイフレックス型会議など、働き方に大きな変化が生じたり、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進やAIの活用など、これまで以上に業務の効率化を求められたりするようにもなりました。加えて、コロナ禍で研修などもオンラインで実施されることが多くなり、職員同士で情報交換や相談をするといったつながりを直接持つ機会も激減しました。

このような状況の中で、アフターコロナの業務の進め方に漠然とした不安や悩みを抱いたり、コロナ禍で整理された業務が元に戻ってしまうのではと危機感を感じたりする方も多いのではないのでしょうか。

第14回コクダイパン会議では、「Reboot コクダイパン！」をテーマとして、一度途絶えてしまったコクダイパン会議の歴史を再起動（Reboot）し、先に述べた不安や悩み、危機感を共有しながら課題を解決することで、コロナ禍で希薄になった一般職員同士のつながりを再構築することを目指します。

コクダイパン会議は、参加者全員でつくりあげていくものであり、普段の業務では経験しがたい環境であるからこそ、自己分析や他者との対話を通して新しい視点を得たり視野を広げたりと、一般職員としての変わることのない輝きを是非見つけてほしいと思います。

また、分科会などのプログラム以外の場面においても、他機関の参加者とのつながりを深めることで、コクダイパン会議が全員にとって、未来のインタープレナーとしてレベルアップできるような場となるよう、心から願っています。

【1日目】

1) 分科会Ⅰ

少人数のグループに分かれ、各自が「アフターコロナ時代にそのまま残したいもの・元に戻したいもの・先に進めたいもの」を視覚化し、客観的に現状を把握します。また、その精査を通して、自分自身の課題や悩みを見つけ、グループ内でシェアすることで、今回のコクダイパン会議の目的意識を明確にします。

2) 分科会Ⅱ

事例紹介者をホストにしたワールドカフェを行います。事例紹介ごとに設けられた発表者と聴講者との質疑応答や、ワールドカフェを通じた意見交換により、分科会Ⅰで視覚化された「アフ

ターコロナ時代にそのまま残したいもの・元に戻したいもの・先に進めたいもの」をさらに精査し、自分自身の課題や悩みを解決するヒントを得ることで、後の全体会や2日目に繋がります。

3) 全体会

分科会 I と同じグループに戻り、1日目の振り返りを行い、その中で発見した課題や悩みを共有しあい、相互に解決を依頼、または解決をシェアワークを実施します。どんな人と繋がりたいか、何を知りたいか、逆にどんな情報を自ら提供できるかを視覚化して自由に意見交換を行うなど、アナログなコミュニケーションを通じて「全員が課題を解決させる」というゴールを目指します。

【2日目】

4) 分科会Ⅲ

事例紹介者をホストにしたワールドカフェを行います。課題解決のヒントとなりそうなキーワードを書いたカードを用いながらワールドカフェを繰り返し、参加者が直面している課題や悩みに対しての新しい解決策を見つけるための一助とします。

5) 分科会Ⅳ

1日目は別のグループに分かれ、参加者が直面している課題や悩みについて再考します。2日間で知り得た情報をもとに、各々が個人ワークにより自分自身で解決策を考えた後、グループ内で共有し、グループ内で話し合っって新しい視点を取り入れることで、「今までにない新しい解決策を見つけ出す」というゴールを目指します。

6) 昼食、全体会

昼食時には今回のテーマパンを紹介し、実際に食べながら参加者同士の交流を深めます。また、最後の全体会では2日間の議論を振り返り、何名かの参加者に発表してもらったことで、具体的な業務改善策や今までにない新しい考え方を共有します。

6. 参加申込

【申込受付期間】令和5年7月3日（月）～7月31日（月）17:00

以下のいずれかの方法でお申し込みください。なお、申込にあたって疑問点などがございましたら、実行委員会へメールでお問い合わせください。

(1) 参加申込フォームから申し込む場合【推奨】

参加申込フォーム（以下 URL）に必要事項をご入力の上、お申し込みください。（右の二次元バーコードからもアクセスできます。）

<https://forms.gle/A86LyhMqfTEw4Nub7>



(2) 機関でまとめて申込をされる場合や上記申込フォームを利用できない場合

国立大学一般職員会議ホームページ (<https://kokudaipan.info/>) の「APPLY」ページにアクセスして「参加申込用紙 (Excel)」をダウンロードし、必要事項を記入の上、実行委員会 (info@kokudaipan.info) へメールでお送りください。

=参加申込に係る留意事項=

- ・参加申込の際にご入力いただいたメールアドレスを基に第14回コクダイパン会議参加者限定のメーリングリストを開設し、メールにより各種連絡を行いますので、予めご了承ください。
- ・事前課題等送付のため、メールにデータファイル（圧縮されたファイルを含む。）を添付することがありますので、添付ファイルを含む実行委員会からのメールを確実に受信できる個人アドレスをご登録ください。

7. 参加費

【会議費】 2,000 円（1 日目のみ参加の方に限り、1,000 円）

【懇親会費】 3,000 円（参加希望者のみ）

※会議費は、資料の印刷費、グッズの作成費等、運営のための必要経費です。

8. 参加費の納入方法

【納入受付期間】 令和5年7月3日（月）～8月4日（金）17:00

上記「6. 参加申込」に従ってお申し込みいただくと、ご入力いただいたメールアドレス宛に実行委員会から個人 ID が記載された申込受理メールが送信されますので、納入受付期間内に下記口座へ参加費を納入してください。なお、参加申込後1週間を過ぎても申込受理メールが届かない場合は、実行委員会までメールでお問い合わせください。

=参加費納入に係る留意事項=

- 1) 参加費は懇親会費も含めて事前に納入が必要です。
- 2) 参加費納入にかかる手数料については、参加者負担でお願いします。
- 3) 参加費納入の際は、通信欄に個人 ID を記載し、お名前と併せて所属機関名をご記入ください。
ただし、通信欄がない場合は、お名前及び所属機関名と併せて個人 ID をご記入ください。
- 4) 参加費納入後に受領した「振替払込請求書兼受領書」または「ご利用明細票（振替受付票）」などは念のため保管しておくようお願いします。
- 5) 参加申込を受理した場合であっても、参加費の振込がない、または振り込まれた参加費が不足していた場合、参加申込を取消しさせていただく場合があります。
- 6) 納入済みの参加費（懇親会費を含む。）については、実行委員会の責めに帰すべき事由がある場合を除いて返還いたしませんので、ご了承ください。
- 7) 振込完了後のキャンセル及び当日の会議欠席の場合、会議終了後1週間以内に実行委員会までメールで連絡をいただければ、当日配付した資料及びグッズを「着払い」で送付します。

=参加費納入に係る口座情報=

- 1) ゆうちょ銀行（窓口・ATM）から振込の場合
口座記号・口座番号：02200-8-137671
加入者名：国立大学一般職員会議実行委員会
- 2) ゆうちょ銀行以外からの振込の場合
銀行名：ゆうちょ銀行
金融機関コード：9900
店番：229
預金種目：当座
店名：二二九（ニニキユウ）店
口座番号：0137671
口座名称：国立大学一般職員会議実行委員会
コクリツダイガクイッパンシヨクインカイギジッコウイインカイ

9. お知らせ

国立大学一般職員会議ホームページや実行委員によるブログ、各種SNSで情報を発信しています。今回の会議に関する情報のほか、過去の会議に関する情報も掲載されていますので、是非ご覧ください。

【公式ホームページ】 <https://kokudaipan.info/>

【ブログ】 <http://blog.kokudaipan.info/>

【Twitter】 <https://twitter.com/kokudaipan>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/kokudaipan>

10. 実行委員会の問い合わせ先

info@kokudaipan.info

※国立大学一般職員会議に関するご意見、ご質問などもお気軽にお寄せください。

※電話やFAX等によるお問い合わせには対応できませんので、ご了承ください。

第14回 国立大学一般職員会議

Rebootコクダイパン!

～熱き想いたちの大噴火～

2023年9月17日(日)・18日(月・祝)

会場:鹿児島大学郡元キャンパス

▶ コクダイパン会議 基本ルール

1. 相手の意見を尊重する。
2. すべての参加者が議論に参加できるように気を配る。
3. 愚痴だけで終わらない。問題の解決策や将来像の実現方法を考える。

▶ 配付資料一覧:

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 表紙・配付資料一覧 | 10 分科会Ⅱグループ一覧 |
| 2 日程表 | 11 全体会②実施要領 |
| 3 鹿児島大学キャンパスマップ
全体図 | 12 分科会Ⅲ実施要領 |
| 4 参加者名簿(個人ID順) | 13 分科会Ⅲグループ一覧 |
| 5 アナログSNS実施要領 | 14 分科会Ⅳ実施要領 |
| 6 全体会①②・分科会Ⅰグループ一覧 | 15 分科会Ⅳグループ一覧 |
| 7 全体会・分科会座席表 | 16 懇親会場配置図 |
| 8 分科会Ⅰ実施要領 | 17 懇親会企画内容 |
| 9 分科会Ⅱ実施要領 | 18 メモスペース |

▶ アンケートへのご協力について:



アンケートはこちらからご回答ください。
(読み取れない等、不備があれば実行委員へ)



第14回 国立大学一般職員会議 日程表

【1日目】

時 刻	進 行	内 容	会 場
13:00	開場・受付	・アナログSNS など	学習交流プラザ2階 学習交流ホール前
13:30 - 14:00	全体会① (30分)	・オープニング ・会議全体の 趣旨説明 ・1日目の 趣旨説明	学習交流ホール
14:10 - 15:15	分科会Ⅰ (65分)	グループワーク	学習交流ホール
15:30 - 17:00	分科会Ⅱ (90分)	ワールドカフェ	学習ラウンジ
17:10 - 17:50	全体会② (40分)	1日目の総括 2日目に向けて	学習交流ホール
18:10 - 20:00	懇親会 (110分)		ヴェジマルシェ'19

第14回 国立大学一般職員会議 日程表

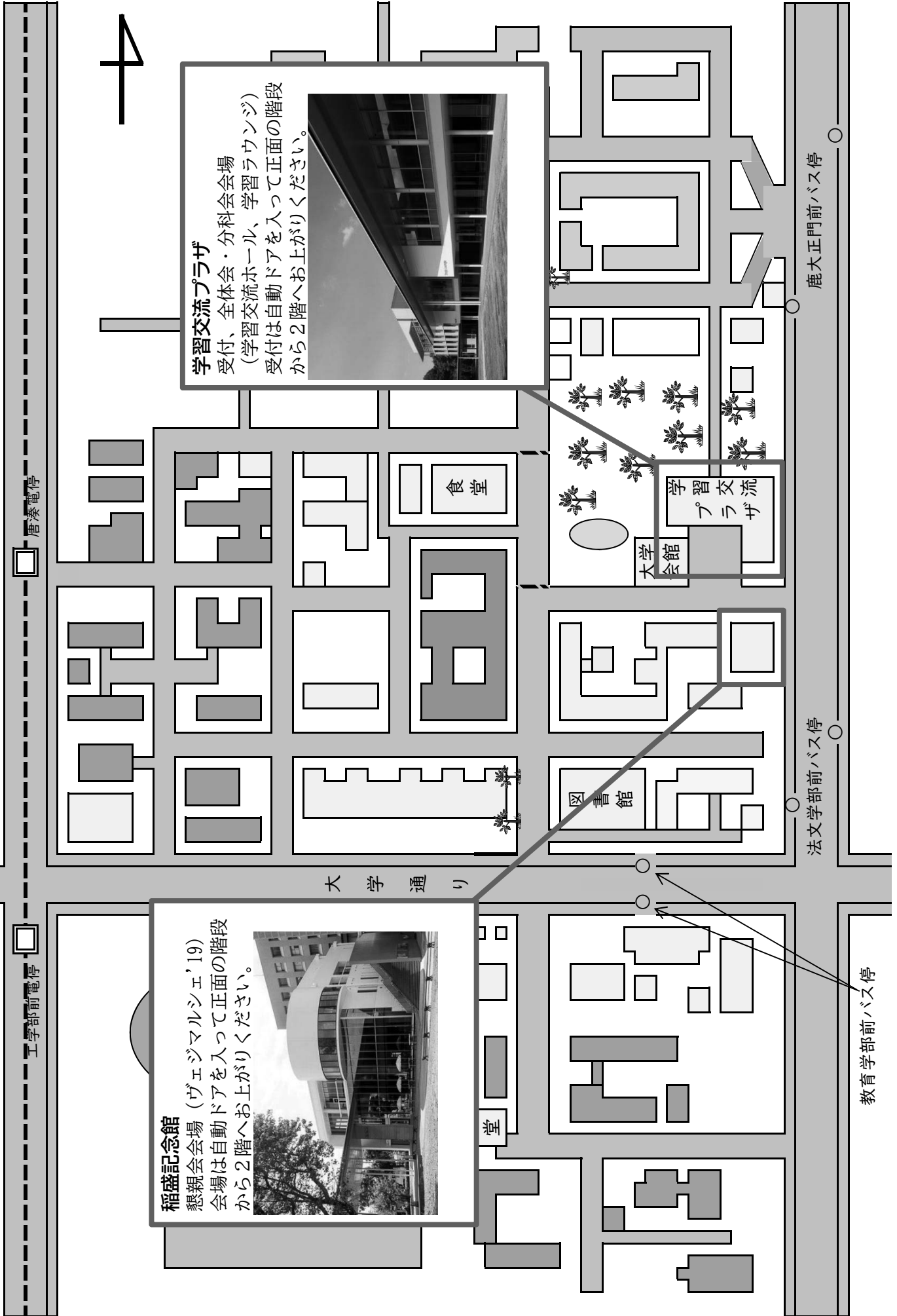
【2日目】

時 刻	進 行	内 容	会 場
9:00	開場・受付		学習交流ホール
9:20 - 9:30	全体会③ (10分)	・2日目のスケジュール確認、趣旨説明	学習交流ホール
9:40 - 11:10	分科会Ⅲ (90分)	ワールドカフェ	学習ラウンジ
11:20 - 12:00	分科会Ⅳ (40分)	グループワーク	学習ラウンジ
12:00 - 13:00	昼食 (60分)		
13:00 - 13:15	全体会④ (15分)	・参加者による発表 ・2日間の総括	学習交流ホール


【会議期間中の緊急連絡先】 090-3326-2859

鹿児島大学郡元キャンパス周辺MAP

※大学内に駐車場はありませんので、お車でお越しの方は近隣のコインパーキングをご利用ください。



稲盛記念館
 懇親会会場 (ヴェジマルシェ'19)
 会場は自動ドアが入って正面の階段
 から2階へお上がりください。



学習交流プラザ
 受付、全体会・分科会会場
 (学習交流ホール、学習ラウンジ)
 受付は自動ドアが入って正面の階段
 から2階へお上がりください。



第14回コクダイパン会議 アナログSNS 実施要領
【令和5年9月17日（日）～18日（月）】

趣旨

コクダイパン参加者同士で、課題や悩みはもちろん、感想なども共有しあい、それぞれの課題や悩みの解決を進めるとともに、会の一体感の醸成に寄与したいものです。どんな人と繋がりたいか、何を知りたいか、逆にどんな情報を持っているかなど、当日全員に見える形にして自由に意見交換を行うことによって、「全員が課題を見つけ、解決させる」というゴールを目指します。

実施要領

<詳細>

1. 貼付

自分のお悩みや課題、はたまた会への意気込みや終わった感想など、なんでも付箋に書いて貼付（ちょうふ）しちゃいましょう！リアルでもやり取りできるように右下にお名前を忘れずに！

2. Re: 貼付

貼付された付箋を眺めてみて、気になる付箋があったら、課題への解決案はもちろん、共感のコメントや似たような経験などなど...何でも近くに貼付してください！

3. まるシール

単純に応援したいコメント、強調させたい付箋については、まるシールを用意していますので、お名前を書いて付箋やその周りに貼付してください！

4. 運営より

事前に回答してもらったお悩みや業務改善例について、貼りだしているのので、付箋やまるシールを貼付してみましょう！

5. サービス終了

アナログSNSサービス終了時には、お悩みの共有や解決までできている.....かも！？

<タイムスケジュール>

9月17日（日） 13:00～13:30（30分）	受付の際に必ず一人一つ以上、意気込み、目標などを貼付してください！
★休憩時間に眺めたり、好きに貼付してください！★ ★各分科会の終わりに感想を貼付してくれたら嬉しいです！★	
9月17日（日） 18:10～20:00（110分）	懇親会会場にもお邪魔します...♡
9月18日（月） 9:00～9:20（20分）	2日目の意気込みや課題解決策など、必ず一人一つ以上貼付してください！
9月18日（月） 12:00～13:00（60分）	コクダイパンももう終わり...皆さんの感想など、お願いします！
9月18日（月）13:15～	コクダイパンも終わり、アナログSNSもサービス終了の予定です。駆け込みで記念に貼付はいかが？

全体会、分科会 I 座席表

演題

司会

グループA

グループB

グループC

グループD

グループE

グループF

グループG

グループH

グループI

グループJ

グループK

備品等

分科会Ⅱ 座席表

窓側

A

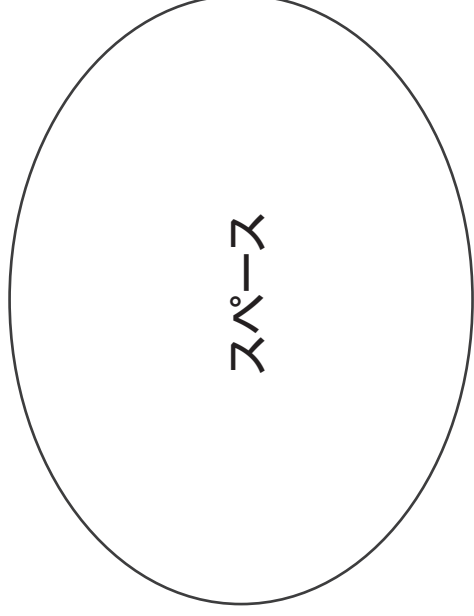
B

C

D

E

F



G

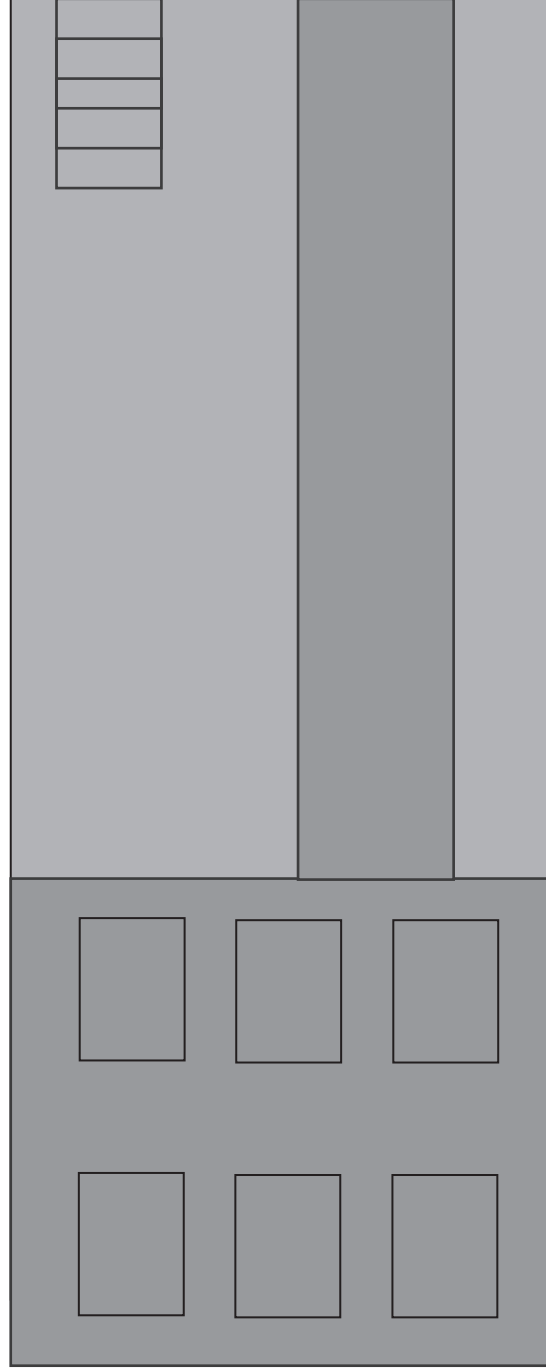
I

K

H

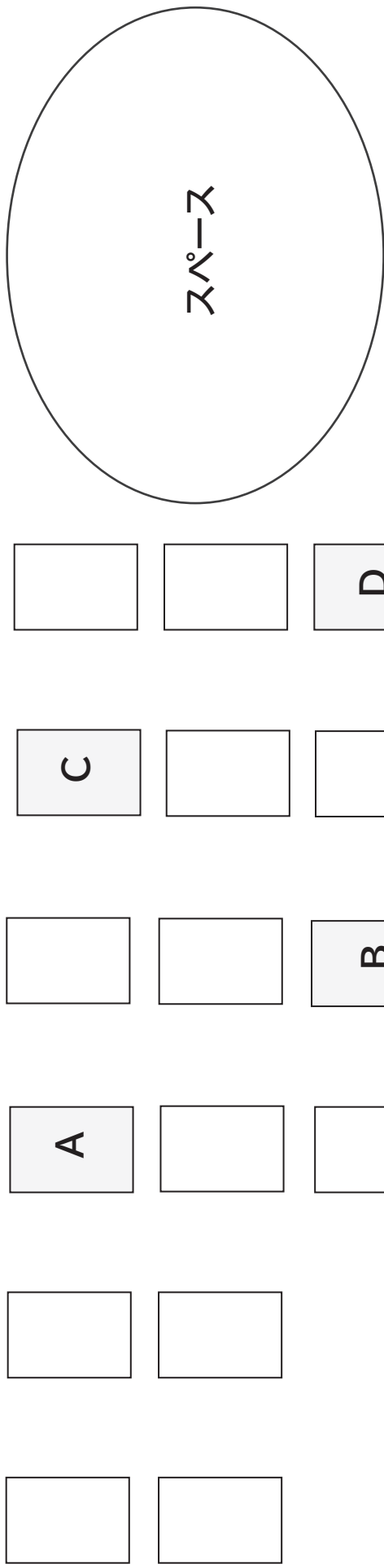
J

窓側

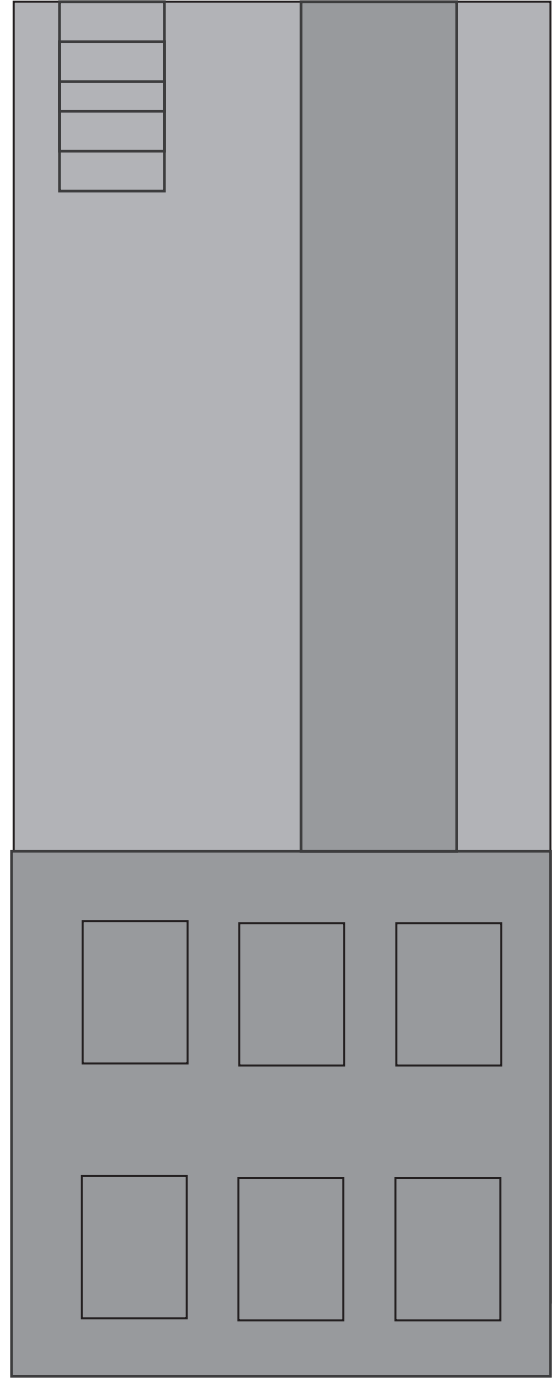
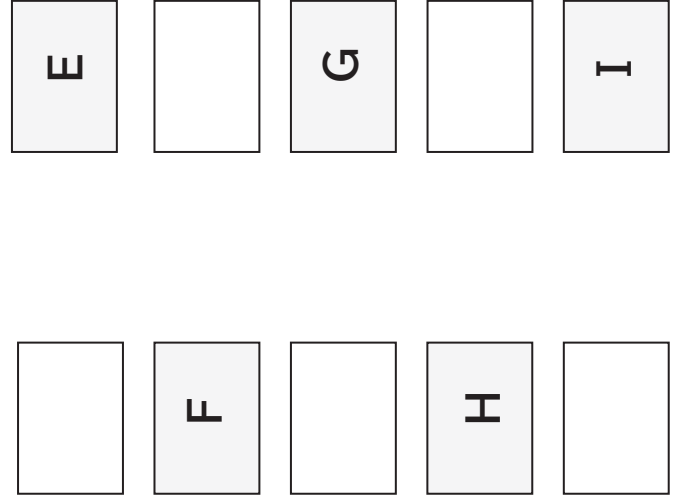


分科会Ⅲ、Ⅳ 座席表

窓側



窓側



第14回コクダイパン会議 分科会Ⅰ 実施要領
【令和5年9月17日（日） 14：10～15：15（65分）】

1. 趣旨

少人数のグループに分かれ、国立大学等においてアフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいものを視覚化し、客観的に現状を把握します。また、その精査を通して、自分自身の課題や悩みを見つけて、グループ内でシェアすることで、今回のコクダイパンの目的意識を明確にします。

2. 進行要領

<タイムスケジュール>

14：10～14：20（10分）	i. 概要説明、アイスブレイク
14：20～14：30（10分）	ii. 個人ワーク
14：30～14：50（20分）	iii. グループワーク①（個人ワークのシェア）
14：50～15：00（10分）	iv. 他グループの見学
15：00～15：15（15分）	v. グループワーク②（気づきのシェア）

<詳細>

i. 概要説明、アイスブレイク（10分）

はじめに、実行委員から、本分科会の目標・進行・ルール等について説明します。続いて、1人1分を目安にグループ内で自己紹介を行ってください。

ii. 個人ワーク（10分）

グループワーク①において、アフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいもの、自分自身の課題や悩みについて、各自3分程度で発表してもらいます。

個人ワークでは、そのための準備を各自で行っていただきます。まずは、事前課題で考えてきた自分自身の課題や悩みを付箋に記入してください。その後、アフターコロナ時代に①残したいもの、②戻りたいもの、③進めたいもの、について思いつく限り付箋に記入してください。また、残りの時間で、考えた内容を整理し、発表の準備をしてください。

iii. グループワーク①（20分）

グループワーク①では、アフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいもの、自分自身の課題や悩みとそれにまつわるエピソードについて、グループ内で発表と意見交換を行います。1人につき3分を目安に発表し、全員発表が終わり次第、意見交換を行ってください。

発表では、個人ワークで記入した付箋を模造紙に貼り、エピソード等を添えながら発表してください。全員発表後は、より認識を深めるとともに、新たな発見することを目指して活発に情報交換を行ってください。

iv. 他グループの見学（10分）

他グループの見学では、他のグループの模造紙等を見て回り、情報収集を行ってください。見学の際は、グループ全員で見学しても、別々に見学しても構いません。多くの情報を収集するように心がけてください。

v. グループワーク②（15分）

グループワーク②では、他グループの見学で発見した他グループのよいところや印象に残った点を付箋に記入して、模造紙に貼付してください。

最後に、模造紙等を見ながら、グループ毎に気づきをシェアしてください。

※他グループから情報収集した内容については、異なる色の付箋を使用したり、ペンの色を変えたりする等して差別化してください。

3. 留意点

- ・必ず全員がコメント・質問等を行うことが目標です。積極的に発言してください。
- ・多くの情報が収集できるよう、グループメンバーやメンバー以外とも活発に情報交換を行ってください。

～模造紙イメージ～

①残したいもの

②戻したいもの

③進めたいもの

④自分自身の課題や悩み

分科会 I ワークシート

1. 個人ワーク

(発表のために必要なこと等を自由にメモしてください)

2. グループワーク・他グループの見学

(グループメンバーの発表や他グループ見学等について自由にメモしてください)

3. 自由メモ欄

第14回コクダイパン会議 分科会II 実施要領
 【令和5年9月17日（日） 15：30～17：00（90分）】

1.趣旨

自分自身もしくは同僚が行った業務改善について事例紹介をしていただき、その後は事例紹介者をホストにしたワールドカフェを行います。事例紹介ごとに設けられた発表者と聴講者との質疑応答や、ワールドカフェを通じた活発な意見交換を通して、分科会Iで視覚化されたアフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいものに対して多くの人の意見を聞き、2日目に話し合う自分自身の悩みを解決するためのヒントを得る機会とします。

2.進行要領

＜タイムスケジュール＞

15：30～15：35（5分）	i. 概要説明
15：35～15：55（20分）	ii. 事例紹介とワールドカフェ①
15：55～16：00（5分）	席替え（自己紹介と名刺交換も含む）
16：00～16：15（15分）	iii. ワールドカフェ②
16：15～16：20（5分）	席替え（自己紹介と名刺交換も含む）
16：20～16：35（15分）	iv. ワールドカフェ③
16：35～16：40（5分）	席替え（自己紹介と名刺交換も含む）
16：40～16：55（15分）	v. ワールドカフェ④
16：55～17：00（5分）	vi. まとめ

＜詳細＞

i. 概要説明（5分）

所定の班ごとに分かれて着席してください。実行委員から、本分科会の概要・進め方・時間配分・ルールについて説明があります。

ii. 事例紹介とワールドカフェ①（20分）

班ごとに事前課題として回答していただいた「自分自身もしくは同僚が行った業務改善」について、代表者に事例紹介をしていただきます。その後、事例紹介の内容や分科会Iでの気づきをもとに、「アフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいもの」についてワールドカフェを行います。ワールドカフェでは、自由に意見交換を行い、気づきや学び等があれば、班ごとに用意してある模造紙に自由に書き込みましょう。（最後の振り返りに使いますので、些細なことでも、どんどん書き込みましょう！）

○ワールドカフェについて

4名～5名程度のグループをつくり、ひとつのテーマについて15分程度会話をします。その後、各グループ1名（今回は事例紹介者）を残した状態でメンバーを交代し、同じテーマについて会話をを行います。これを2～3回繰り返します。メンバー交代後は、前のグループでどのような話題があったかを共有しながら会話していくことで、テーマについての視野を広げていきましょう。

【基本ルール】

- 1 カフェのようなリラックスした雰囲気、オープンに本音を語る。
 ※多少雑談になってもOK!
- ② 他の人の意見を否定しない。

iii. ワールドカフェ②（15分）

メンバーを変えて引き続きワールドカフェを行います。（机上の模造紙はそのままです。）メンバーが変わったことにより、それぞれが聞いた事例紹介が異なり、机の上の模造紙には①のメンバーが書き残した内容が残っています。これらの要素を用いて、更に自分自身の考えや学びを深めていきましょう。（模造紙への書き込みも忘れずに！）

iv. ワールドカフェ③（15分）

ワールドカフェ②と内容は同じです。少しずつ雰囲気にも慣れてくるかと思えますので、さらなる気づきや学びを期待します。話題に詰まってきたら、テーマと関係ない話をしてみるのも良いかもしれません。新たな気づきにつながるかも。（会議全体で他大学の人とたくさん話していただきたいため、多少雑談があっても大丈夫です！）

v. ワールドカフェ④（15分）

ワールドカフェ②と内容は同じです。いよいよラストです。メンバーが変わり、模造紙には3回分の気づきや学びが書き込まれています。これまでの気づきや学びを更に深めるだけでなく、次の全体会②に向けて、自分自身の考えをまとめていきましょう。

vi. まとめ（5分）

分科会Ⅱをとおしての気づきや学び、印象に残ったことを数人に発表してもらいます。また、ワールドカフェで書き込んだ模造紙をホワイトボードに掲示するので、見直してみましょう。（自分の書き込みにたくさんのリアクションや深堀の書き込みがあるかもしれません。）

第14回コクダイパン会議 全体会② 実施要領
【令和5年9月17日(日) 17:10~17:50(40分)】

1. 趣旨

分科会 I と同じグループに戻り、1日目の振り返りを行い、国立大学においてアフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいものを改めて精査します。また、その中で発見した課題や悩みを共有しあいます。それを踏まえて、どんな人と繋がりたいか、何を知りたいか、逆にどんな情報を自ら提供できるかを付箋に書き出し、全員に見える形で貼り付ける「アナログSNS」を作成し、アナログなコミュニケーションを通じて「全員が課題を解決させる」というゴールを目指します。

2. 進行要領

＜タイムスケジュール＞

17:10 ~ 17:30 (20分)	i. 自分自身の悩みや課題を共有し、相互にアドバイスしあう、アフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいものの精査
17:30 ~ 17:40 (10分)	ii. 1日目の学びをシェア
17:40 ~ 17:50 (10分)	iii. 1日目の総括、2日目に向けて

＜詳細＞

i. 自分自身の悩みや課題を共有し、相互にアドバイスしあう、アフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいものの精査 (20分)

本日最初の分科会 I と同じグループに戻り、本日の振り返りを行い、国立大学においてアフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいものを改めて精査します。また、その中で発見した課題や悩みを共有しあいます。それを踏まえて、どんな人と繋がりたいか、何を知りたいか、逆にどんな情報を自ら提供できるかを付箋に書き出し、全員に見える形で貼り付ける「アナログSNS」を作成し、アナログなコミュニケーションを通じて「全員が課題を解決させる」というゴールを目指します。

最初に、10分間程で先程の分科会 II の振り返りを行い、その中で分科会 I で作成した「国立大学においてアフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいもの」に追加したいものがあれば、付箋を追加してください。

各グループ内で順番に、先程の分科会 II でどんな話が出たか、印象に残ったかを共有し、適宜付箋を追加してください。発表の順番は自由ですが、初めに話す方が決まったら、その方から時計回りに話していくとスムーズかと思います。初めに発表する方はグループ内のタイムキーパーもお願いいたします。全員の発表が終わりましたら、グループ内で改めて「国立大学においてアフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいもの」を精査し、完成させてください。

上記のワークが終わりましたら、本日得た情報を踏まえ、自分自身の課題について考え、個人ワークシートに書き込んでください。解決策は明日のワークで書き込みますので、現在は空欄で構いません。

個人ワークシートに書き終わりましたら、その解決のために、どんな人と繋がりたいか、何を知りたいかを考え、付箋に書き出し、「アナログSNS」に貼り付けてください。また、逆に自分自身がどんな情報を提供することができるかも付箋に書き出し、同じく「アナログSNS」に貼り付けていただければと思います。

付箋の右下に必ず大学名とお名前を書くようお願いいたします。

こちらの「アナログSNS」は、この後の懇親会でも掲載しますので、是非たくさんの方の付箋を貼り付けてください。

ii. 1日目の学びをシェア（10分）

数人の方に1日目の学びをシェアしていただきます。

iii. 1日目の総括、2日目に向けて（10分）

第14回コクダイパン会議実行委員から、懇親会と2日目に向けての連絡事項をお知らせします。

第14回コクダイパン会議 分科会Ⅲ 実施要領
 【令和5年9月18日（月・祝） 9：40～11：10（90分）】

1. 趣旨

自分自身もしくは同僚が行った業務改善について事例紹介をしていただき、その後は事例紹介者をホストにしたワールドカフェを行います。基本的には、分科会Ⅱと同じ流れになりますが、分科会Ⅲでは「アフターコロナ」に限らず、「業務に関する悩みを解決するためのヒント」や「今後の大学職員に必要なこと」等、テーマを広げて意見交換を行います。

2. 進行要領

＜タイムスケジュール＞

9：40～ 9：45（5分）	i. 概要説明
9：45～10：05（20分）	ii. 事例紹介とワールドカフェ①（自己紹介と名刺交換も含む）
10：05～10：10（5分）	席替え
10：10～10：25（15分）	iii. ワールドカフェ②（自己紹介と名刺交換も含む）
10：25～10：30（5分）	席替え
10：30～10：45（15分）	iv. ワールドカフェ③（自己紹介と名刺交換も含む）
10：45～10：50（5分）	席替え
10：50～11：05（15分）	v. ワールドカフェ④（自己紹介と名刺交換も含む）
11：05～11：10（5分）	vi. まとめ

＜詳細＞

i. 概要説明（5分）

所定の班ごとに分かれて着席してください。実行委員から、本分科会の概要・進め方・時間配分・ルールについて説明があります。

ii. 事例紹介とワールドカフェ①（20分）

班ごとに事前課題として回答していただいた「自分自身もしくは同僚が行った業務改善」について、代表者に事例紹介をしていただきます。その後、事例紹介の内容やこれまでの活動をもとに、「業務に関する悩みを解決するためのヒント」や「今後の大学職員に必要なこと」についてワールドカフェを行います。テーマは、大学職員についての話題であれば各班自由としますが、1人でも多くの方が自身の業務に関して新たな気づきや学びを得る時間にしたいので、聞いてみたいこと気になったことがあれば積極的に意見交換を行いましょ。分科会Ⅱと同様、気づきや学び等があれば、班ごとに用意してある模造紙に自由に書き込みましょ。

iii. ワールドカフェ②（15分）

メンバーを変えて引き続きワールドカフェを行います。前のグループの内容を振り返りながら、気になったことがあれば、どんどん意見交換を行いましょ。

iv. ワールドカフェ③（15分）

ワールドカフェ②と内容は同じです。メンバーの被りが多く出てきますので、以前の意見交換と比べて変わった視点等に注目すると新たな気づきがあるかもしれません。

v. ワールドカフェ④（15分）

ワールドカフェ②と内容は同じです。ワールドカフェのラストです。心残りが無いように気になったことがあれば些細なことでもどんどん意見交換しましょ。

vi. まとめ（5分）

分科会Ⅲをとおしての気づきや学び、印象に残ったことを数人に発表してもらいます。また、ワールドカフェで書き込んだ模造紙をホワイトボードに掲示するので、見直してみましょ。（このワールドカフェをとおして、1人でも多くの方が自身の業務に関して、悩みへの解決策や新たな視点を得ることができれば幸いです。）

第14回コクダイパン会議 分科会Ⅳ 実施要領
【令和5年9月18日（月・祝） 11：20～12：00（40分）】

1. 趣旨

1日目とは別のグループに分かれ、二日間で得た情報をもとに、参加者が今業務で直面している課題について再考します。二日間で知り得た情報やグループでの話し合いをもとに、各々が個人ワークにより自分自身で解決策を考え、グループ内で全員が発表し、それらを共有します。解決策が今までにない「新しい」ものになっているか、なっていないか、どんな所に新しい視点を入れられるか、グループ内で話し合い、新しい解決策を提案できる人材を目指します。

2. 進行要領

＜タイムスケジュール＞

11：20 ～ 11：25 (5分)	i. 概要説明
11：25 ～ 11：40 (15分)	ii. 個人ワーク（自分自身の課題とその解決策を洗い出し）
11：40 ～ 12：00 (20分)	iii. グループワーク（それぞれの課題をシェアし、解決策を提案しよう）

＜詳細＞

i. 概要説明（5分）

二日間で得た情報をもとに、今業務で直面している課題について再考します。最初に、10分間程の個人ワークにより自分自身の課題とその解決策を考え、シートに書き込みます。その後、グループ内で書き出した課題とその解決策を共有してください。解決策が今までにない「新しい」ものになっているか、なっていないか、どんなところに新しい視点を入れられるか、グループ内で話し合い、新しい解決策を提案できる人材を目指します。全体を通して、ぜひ一日目で話し合った「国立大学においてアフターコロナ時代に残したいもの・戻りたいもの・進めたいもの」や、その作業の中での気づきを意識しながら、話し合っていたいただければと思います。

ii. 個人ワーク（自分自身の課題とその解決策を洗い出し）（15分）

個人ワークを開始する前に、1人1分を目安に、各グループ内で自己紹介と名刺交換を行ってください。

自己紹介が終わりましたら、個人ワークに取り組んでください。ワークシートを用意しましたので、こちらに自分自身の課題とその解決策を書き込んでいただければと思います。全員が早めにワークシートへの書き込みを終えたグループがありましたら、グループ内での共有を早めに始めても構いません。

iii. グループワーク（それぞれの課題をシェアし、解決策を提案しよう）（20分）

各グループ内で一人ずつ、自分自身の課題とその解決策について発表し、グループ内で共有してください。一人の方が発表し終わったら、ぜひグループ内で質問やコメントをあげてください。質問やコメントを含め、1人4分程度が目安となります。解決策が今までにない「新しい」ものになっているか、なっていないか、どんなところに新しい視点を入れられるかを意識しながら、コメントをお願いします。

相手の意見を尊重する。全ての参加者が議論に参加できるように気を配る。愚痴だけで終わらない。問題の解決策や将来像の実現方法を考えると、ポジティブな議論を意識してグループワークに臨んでください。

発表の順番は自由ですが、初めに話す方が決まったら、その方から時計回りに話していくとスムーズかと思います。初めに発表する方はグループ内のタイムキーパーもお願いいたします。

全員の発表が終わったグループは、自分自身の課題解決策がより良いものになるよう、様々なアイデアを募集してみてください。この後は昼食の時間となりますが、話し足りない場合はランチミーティングにさせていただいても構いません。

懇親会について

▼日時

9月17日(日) 18:10~20:00(110分)

▼会場

稲盛記念館レストラン『ヴェジマルシェ'19』(鹿児島大学郡元キャンパス内)

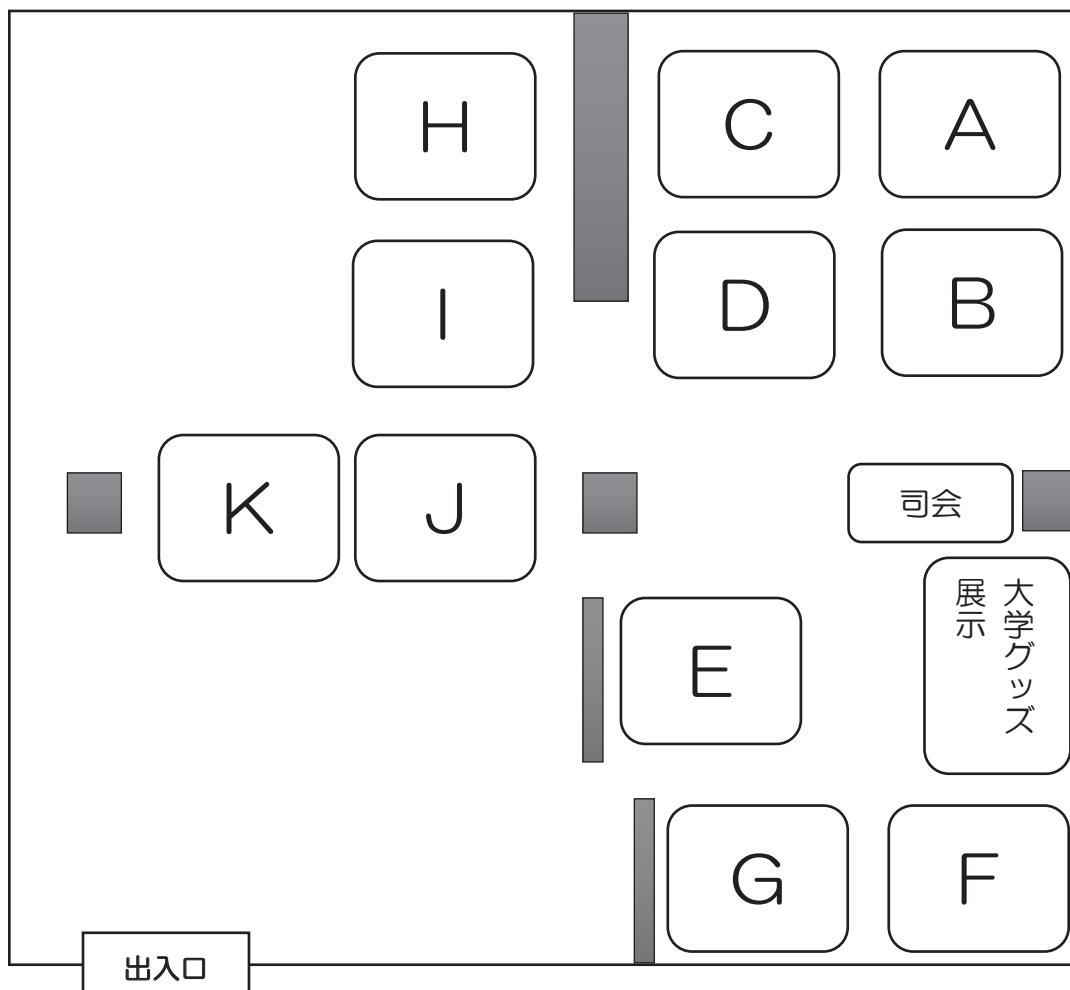


▼配置図

●グループメンバー

懇親会のグループは、分科会 I および全体会①②と同じグループです。

●会場レイアウト（稲盛記念館2階）



※会場レイアウトは当日変更になる場合があります。

企画：大学グッズ紹介

(1) グッズ争奪クイズ大会

1日目の受付時に、大学グッズ紹介受付簿に『大学名』『品名』『代表者氏名』を記入の上、グッズと大学紹介パンフレットを係の者に預けてください。受付簿に記入が完了しましたら、番号札を渡しますので、懇親会まで紛失しないように保管してください。番号札に書かれた数字が、懇親会でグッズ発表していただく順番となります。クイズ大会は、各大学のグッズ紹介が終了後、司会から問題を出題させていただきます。最初に正解を出すことができた方に、大学グッズを景品として贈呈します。（適宜ヒント等を出す場合がありますが、ご了承ください。）

(2) グッズ展示紹介

1日目の受付時に、大学グッズ紹介受付簿に、大学グッズ紹介受付簿に『大学名』『品名』『代表者氏名』を記入の上、グッズと大学紹介パンフレットを係の者に預けてください。係の者が懇親会会場に配置させていただきます。

なお、当日飛び入りでグッズ展示に参加される方は、持参した大学グッズの取り扱いについて、参加者持ち帰り自由とするか、自分で持ち帰るか、こちらでご希望をお伝えください。

